

## 2 計画の進行管理

## 2 計画の進行管理

### (1) 第2期環境基本計画前期行動計画

第2期環境基本計画前期行動計画は、ふじみ野市の豊かな自然環境と都市環境が調和する良好な環境を将来に引き継ぎ、また、地球環境保全などの環境課題に対し、市、市民、事業者が共通の目標を掲げ推進するために策定されました。

本計画は、施策の方向性である4つの「施策の柱」を定め、それぞれの柱ごとに、基本的な考え方と施策の展開を示し、その方向性にそって各主体が取り組み、より実効性あるものとするために行動指標を設定しています。

この行動指標は平成28年度を基準年度、平成34年度(令和4年度)を目標年度として48の数値目標等を定め取り組んでいます。

### (2) 平成30年度の進捗状況

第2期環境基本計画前期行動計画には48の行動指標がありますが、そのうち「現在評価が可能な46指標※」について達成の有無を「評価1※※」としたところ、目標を達成できたものは17項目37%、途中の進捗状況も加味した「評価2※※※」では57%でした。

※ 現在評価が可能な46指標

「1人当たりの公園等面積」と「緑被率」の2指標については、次期「緑の基本計画」策定の際に算出を想定しており、それを除くと現在評価可能な指標は46です。

※※ 「評価1」

令和4年度の目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

※※※ 「評価2」(進捗状況を加味した評価)

令和4年度の目標値に対し、達成済3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化しました。

◎ 第2期環境基本計画・前期行動計画の進捗状況(平成30年度)

「評価1」: 目標値に対し、達成していれば「○」、未達成の場合は「×」。

「評価2」: 達成3点(100%達成)、あと少し2点(約90%達成)、一部実施1点(10~90%達成)、未着手又はほぼ進んでいない0点(0~10%達成)として点数化。

施策	行動指標	単位等	現状 平成28年 度	目標 令和4年 度	平成30年度	評価1	評価2	所管	平成30年度の課題等
(1) 家族や各年代が参加できる場の提供	1 環境学習館における環境に関する講座数	回	18	36	31	×	1	環境課	平成28年度の「えこらぼ」開設当時の勢い(半年で18回)で目標値年36回と設定したが、講座数は減少傾向ではある。しかし、それ以前はなかった事業であり、市民ニーズも高く飛躍的に充実していることには変わりがない。通常業務と並行して実施している事業であるため、目標値が高すぎたことも考えられる。
	2 学校における環境教育	実施状況	小中全校で実施	小中全校で実施	小中全校で実施	○	3	学校教育課	各校の実態に合わせた年間指導計画の作成の充実。地域協働学校の取組の中で、地域と連携した教育活動を検討していく。
	3 環境フェア実行委員参加団体数(個人参加含む)	団体・個人	18	20	16	×	1	環境課	市報による新規団体募集をしても応募は少ない。H30年度0、令和元年度1人。(個人)
	4 エコラポフェスタの開催回数	回	—	1	1	○	3	環境課	車での来場が多く、さらに駐車場の確保が必要である。雨天時の対応について検討が必要である。
	5 こどもエコクラブの登録数	団体	1	2	1	×	0	環境課	28年度に2団体から1団体に減少した。ホームページで団体紹介をしているが、PR不足は否めない。
(1) 地域や団体が連携した環境事業の推進	6 環境協働事業を実施した環境活動団体数	団体	4	6	4	×	1	環境課	継続事業が多く、新規事業や新規団体の参入が少ない。目標達成のためには予算措置が必要となる。
	7 大学や企業と連携した環境学習事業	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	企業については各事業に積極的に参加いただいているが、地元唯一の大学である文京学院大ふじみ野キャンパスの環境教育研究センターが都内キャンパスに移転予定だったこともあり、環境フェアはしめ各種講座等への参加が少なくなった。
	8 地域環境美化自主活動延べ参加者数	人	8,201	8,693	8,081	×	1	環境課	前年度の実績「延べ参加者7,125人」と比較すると増加したが、まだ基準年度(平成28年度)よりも下回っている。
(1) 環境情報の提供	9 環境年次報告書の発行・市HPへの公表	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	市民への周知とともに、経年変化の把握のうえでも毎年発行する必要がある。
	10 環境情報のネットワーク化した環境活動団体数	団体	—	6	—	×	0	環境課	まずは環境協働事業実施団体のネットワーク化により、情報の共有化等を検討する。
(2) 環境調査の充実	11 環境調査の実施	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	市民への周知とともに、経年変化や汚染・汚濁の傾向をみるうえでも毎年実施する必要がある。
(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	12 ボイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーン	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	市民アンケートで、「タバコやごみのボイ捨てのマナー」について不満度が高く、さらに啓発が必要である。
	13 道路清掃美化活動団体数(道路サポーターズ)	団体	8	10	10	○	3	道路課	会員の高齢化により継続が困難な団体がある。
	14 犬の飼い方しつけ方教室の実施	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	市民アンケートで、「犬などの散歩やふんの処理のマナー」について不満度が最も高い。また、本教室の参加者が減少傾向であり、さらなる周知が必要である。

施策	行動指標	単位等	現状 平成28年 度	目標 令和4年 度	平成30年度	評価1	評価2	所管	平成30年度の課題等
(2) 魅力あるまちなみ、景観の保全と創造	15 苦情があった空き地の未改善箇所数 (年度末現在)	箇所	2	0	4	×	1	環境課	苦情があった空き地の指導はもちろん、当該年度に苦情がなくても、以前、課題のあった空き地の一斉調査による指導も必要である。(不適切な空き地は毎年同様に放置されるケースが多い。)
	16 屋外広告物除去作業回数	回	28	25	28	×	1	道路課	新築の建築物があると張り紙などが増加する傾向にある。
(3) うるおいとやすらぎの場の創出	17 1人当たりの公園等面積	m <sup>2</sup> /人	3.1	5.0	3.1	—	—	公園緑地課	市内の公園等の面積は増加傾向にありますが、人口も増加傾向にあるため、一人当たりの公園面積が増えにくい状況である。
	18 公園等愛護会の数	団体	45	51	44	×	1	公園緑地課	既存の愛護会が活動を継続できるようなサポートをするとともに、新たに愛護会を設立してもらえよう呼びかける必要がある。
	19 市と連携した公園ボランティアの団体数	団体	1	4	0	×	0	公園緑地課	福岡中央公園を愛し育てる会が公園愛護会となったため、公園愛護会以外の公園ボランティア団体がいない状況である。
(1) 安全・安心に住みあえるまち	20 交通安全教室の開催回数	回	16	16	13	×	1	都市計画課	交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進するため、引き続き交通安全教室を実施し、安全なまちを目指していく。
	21 市が管理している道路照明灯等のLED化率	%	15.3	100	100	○	3	都市計画課	市道における道路照明灯及び防犯灯の新規設置や、市道を照らす目的の私有地における道路照明灯及び防犯灯の新規設置については、近隣住民や地権者のご理解、ご協力が必要となる。
	22 自治組織の加入率	%	56.7	59.5	54.0	×	1	協働推進課	加入率については、役員の高齢化・固定化及び実施事業の硬直化など様々な課題を抱えており、左記の取り組みについてもすぐに効果が表れづらいのが現状であるが、継続的な取組が必要であると考えているため、今後も引き続き実施していくとともに、有効策を検討していく。
	23 雨水貯留浸透施設の設置数	箇所	45	52	49	×	1	上下水道課	計画的に浸水実績がある箇所に雨水貯留浸透施設の設置を推進しているが、設置できる場所も限られており、近年のゲリラ豪雨に対して万全とは言い切れない。
	24 野焼きの防止(改善/指導の割合)	%	100	100	100	○	3	環境課	現場を確認して指導する必要があり、通報の受理から迅速な対応が求められている。
(1) 公害の未然防止・拡大抑制	25 大気環境基準達成率 (二酸化窒素と浮遊粒子状物質)	%	100	100	100	○	3	環境課	大気汚染の最も基本となる指標であり、市民の健康を守るため継続した確認が必要である。
	26 河川環境基準達成率 (生物化学的酸素要求量)	%	100	100	100	○	3	環境課	河川水質の最も基本となる指標であり、継続した確認が必要である。
	27 浄化槽維持管理状況の把握	実施状況	—	実施	—	×	0	環境課	浄化槽の維持管理が適正でなく、近隣から悪臭の苦情があるケースもある。全体的な啓発だけではなく、個別の指導が必要である。
(1) 地域温暖化防止対策の推進	28 庁用車の低公害車導入率(アイドリングストップ付き自動車を含む。)	%	19.7	42.7	41.5	×	2	資産管理課	使用年数の長い市有車両等を少しずつ新しい低公害車に変更するとともに、車両の使用頻度を確認しながら、適正かつ効率的な車両台数となるよう調整を図っていく。
	29 公共施設における屋上緑化、緑のカーテン等の設置施設数	施設	29	35	13	×	1	環境課	前計画では平成29年度目標値30に対し平成28年度実績29とあと1に迫ったため、新計画では目標35に増やしたが、平成29年度21、平成30年度13と大幅な減となってしまった。

施策	行動指標	単位等	現状 平成28年 度	目標 令和4年 度	平成30年度	評価1	評価2	所管	平成30年度の課題等
	30 公共施設の電気使用量	Kwh	17,691,615	16,807,035	14,012,509	○	3	環境課	目標を達成したが、引き続き削減に努める必要がある。。
	31 学校給食における県内産食材の割合 (種類の割合)	%	11.7	15.0	11.0	×	1	学校給食課	県内産の積極的な活用は環境に優しい政策であると考えられるが、原材料については畑の面積が広大な県外の地域の方が安価な傾向もあり、埼玉県内産を優先するとコストが上がってしまう可能性もある。
(1) 廃棄物発生抑制と減量化の推進	32 1人1日当たりのごみの量(家庭系、事業系)	g/日・人	家庭系604 事業系176	家庭系585 事業系154	家庭系590 事業系171	×	2	環境課	連続4年間、ごみの少ない市第1位となっている。目標まであと一步。市報、ホームページ、環境センター見学会等でさらに啓発する必要がある。
	33 最終処分量	t	571	356	527.8	×	1	環境課	もやすごみに混入される資源物の分別についてさらに啓発する必要がある。
	34 生ごみ処理容器販売件数	基	67	80	57	×	1	環境課	市内はマンションが多く、ベランダに置くにはまだ小型のキエーロでも大きすぎるという意見もあり、販売が伸び悩んでいる原因の一つとなっている。
	35 集団資源回収量	kg	570	570	448	×	1	環境課	実施団体数が減少している。制度について検証が必要である。
(2) 再利用・リサイクルの推進	36 焼却ごみ量	Kg/年	24,378	22,776	23,944	×	1	環境課	市報、ホームページ、環境センター見学会等でさらに啓発する必要がある。
	37 リサイクル率(灰含む)	%	29.6	31.8	28.2	×	1	環境課	市報、ホームページ、環境センター見学会等でさらに啓発する必要がある。
	38 フリーマーケットの開催回数	回	1	2	2	○	3	環境課	環境フェアと楽ママフリーマーケットの2回実施した。(目標達成)
(3) 廃棄物の適正処理	39 不法投棄パトロールの実施	実施状況	随時実施	随時実施	随時実施	○	3	環境課	随時実施している。
	40 不法投棄回収の回数	台(収集車)	77	57	89	×	1	環境課	基準年度より回収回数が増えていることから、不法投棄が増えている可能性がある。
(1) 緑の保全・創出	41 緑地保護地区面積	m <sup>2</sup>	125,015	125,015	121,007	×	1	公園緑地課	現状の制度では、緑地保護地区を保全するインセンティブとはなりえていないため、制度の見直しについて検討する予定。
	42 緑被率	%	34.5 (H23年度)	40	34.5	-	-	公園緑地課	緑被率に関する現状のデータはありませんが、低下していることが予測されるため、既存の緑の保全と新たな緑の創出に努める必要がある。
	43 市民農園数	箇所	7	9	7	×	1	産業振興課	市内に7カ所ある農園は、まだ若干空きがあるため、広報等活用し利用を呼びかける。
(2) 水辺環境の保全・再生	44 新河岸川の美化活動回数	回	2	3	3	○	3	道路課	地元企業や市民等に継続的な参加をお願いしている。
(3) 自然環境を育む生物共生空間の保全	45 アライグマの捕獲数	頭	3	15	4	×	1	環境課	市民の申し出により、箱ワナの貸し出しを行っている。箱ワナにハクビシンやタヌキがかかる場合も多い。一度に多くの市民のニーズに対応するため、平成30年度に箱ワナ3喜を増やした。
	46 新河岸川生息生物の把握(生物調査)	実施状況	実施	実施	実施	○	3	環境課	市民に分かりやすい指標であり、継続実施が望ましい。

施策	行動指標	単位等	現状 平成28年 度	目標 令和4年 度	平成30年度	評価1	評価2	所管	平成30年度の課題等
(4)美しい自然景 観と歴史的資産の 保全、調和	47 自然環境と調和した歴史、文化財に関する講座回数	回	9	13	7	×	1	教育委員会 (社会教育 課・公民 館・歴史 等)	<p>【大井中央公民館】 成人教育事業の地域分館コミュニティ事業の1つで、毎年、大井分館長の事業企画依頼（おらほう来ねか大井郷と共同）により実施している講座であり、継続実施が望ましい。</p> <p>【上福岡公民館】 高齢者大学の受講生の高齢化により、地域の自然・歴史・文化環境学習の継続が困難になっていくことが予想される。加えて、世代間交流が円滑にされないと伝承されない。</p> <p>【社会教育課】 自然・景観及び文化財保護について、講座や体験学習・観察会等を実施するにあたり、多くの市民が関心を持つように、周知の工夫や学習内容の検討が必要である。さらにはボランティアの育成などにもつながるよう、事業展開の方法も考えていく必要がある。</p>
	48 文化財の指定数	件	58	60	59	×	2	社会教育課	文化財の所在確認・現状の調査については、旧市町の時から続けて行っているが、現状として市内すべての文化財を網羅できていない。「文化財保存活用地域計画」を策定し、計画的に進めていく必要がある。

(3) 協働による環境協働事業の促進

第2期環境基本計画前期行動計画の施策の柱の1つである「学びと協働の推進に基づき、環境活動団体や市内の大学等が実施する環境協働事業の経費を助成することで、環境活動団体の育成等に努め、環境協働事業の推進を図ります。」

平成30年度環境協働事業を実施した環境活動団体

- (1) 環境情報ネット・・・ふじみ野市環境情報誌「はらっぱ」の発行事業
- (2) 花と緑部会・・・緑のカーテン事業
- (3) 環境緑化をすすめる会・・・遊休農地の緑化事業
- (4) 上福岡駅前に花と緑を育てる会・・・

(1) 環境情報ネット

1 提案事業名	ふじみ野市環境情報誌「はらっぱ」の発行事業
2 事業の目的と事業内容	ふじみ野市を中心とする市民、事業者、教育機関、行政機関と連携して、幅広い環境情報を「環境情報誌はらっぱ」の発行を通し、広く市民に提供していくことにより、市民の環境意識の向上を図り、もって、自ら行動する環境市民を育成することを目的とする。
3 事業の期間	平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 (環境情報誌、第 11 号及び第 12 号の発行)
4 事業実施状況	
	<p>(事業実施内容、参加人数等)</p> <p>第 11 号 平成 30 年 10 月 1 日発行</p> <p>4 月 16 日情報ネット会議:11 号構成・スケジュール 5 月 2 日情報ネット会議:特集打合せ等 5 月 24 日情報ネット会議:進捗状況等 8 月 8 日情報ネット会議:11 号原稿校正等 9 月 1 日情報ネット会議:1 次ゲラ校正等 9 月 12 日情報ネット会議:2 次ゲラ校正等 9 月 19 日情報ネット会議:11 号校正 10 月 10 日情報ネット会議:11 号配付、12 号内容等 取材訪問:(株)武蔵野銀行、NORA、明石農園、平野家他</p> <p>第 12 号 平成 31 年 3 月 20 日発行</p> <p>10 月 30 日情報ネット会議:12 号構成・スケジュール 1 月 27 日情報ネット会議:12 号内容等 2 月 18 日情報ネット会議:進捗打ち合せ等 3 月 6 日情報ネット会議:最終原稿入稿 3 月 14 日情報ネット会議:1 次ゲラ校正等 3 月 19 日情報ネット会議:2 ゲラ校正、発注等 3 月 28 日はらっぱ 12 号納品 取材訪問:JA いるま野、早川農園、グリーンサムズ他</p>





3 事業の期間	平成 30 年 4～平成 30 年 10 月
4 事業実施状況	
(年 月 日) 平成 30 年 5 月 6 日  5 月 12 日  8 月 18 日  10 月 20 日	(事業実施内容、参加人数など)  緑のカーテン用苗配布事業 (合計 600 株配付) (午前 10 時) 大井中央公民館 2 株×150 組 (午後 1 時) ココネ広場 2 株×150 組  緑のカーテン育成講座 (上福岡西公民館との協働事業) 参加人数 30 人 (満員)、参加者に苗 2 株配付  ゴーヤ料理教室 (上福岡西公民館との協働事業) 参加人数 24 人 (満員)  緑のカーテン・コンテスト (環境フェアにおいて表彰) 応募総数 26 点 11 月～2 月にかけてふじみ野市・三芳町環境センターで展示
5 事業の成果	計画通り全事業実施出来、地球温暖化防止に繋がる、環境事業は 県環境大賞応募案内が有りましたが、今年度は辞退した。SDGs に繋 がる当事業は継続して、市民、県民、国民、全世界の人々に省エネ を呼びかけ、継続する必要がある。



(3) 環境緑化をすすめる会

1 提案事業名	遊休農地の緑化事業
2 事業の目的と事業内容	市内の遊休農地を活用した緑の再生と自然体験の場をつくり、遊休農地に麦とコスモスを交互に育て、周辺住民や近隣幼稚園児にコスモスの花を摘んでもらう。
3 事業の期間	年間
4 事業実施状況	
(年 月 日)	(事業実施内容、参加人数等)
平成 30 年	
5 月 28 日	草取り・耕耘 12 人参加
6 月 30 日	コスモス種まき 8 人参加
8 月 6 日	草取り 7 人参加
9 月 3 日	草取り 9 人参加
11 月 5 日	草取り 11 人参加
11 月 26 日	コスモス刈取り・耕耘 12 人参加
12 月 3 日	麦蒔き 12 人参加
5 事業の成果	<p>コスモスによる、遊休農地の緑化を実現した。</p> <p>風の里保育園など周辺住民が、コスモスの花を愛でる機会となった。</p> <p>環境緑化をすすめる会、おらほう来ねか大井郷などで構成する「織部塚（一本松）等景観保存会」による織部塚保存の多面的な活動を展開した。</p>



(4) 上福岡駅前に花と緑を育てる会

1 提案事業名	上福岡駅の駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯の花壇化、維持管理事業
2 事業の目的と事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふじみ野市の主駅玄関に相応しく、季節感に溢れた素敵な草花・花木がいつでも咲いている駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯にすることを目的とする。</li> <li>・当該緑地帯を無理なくできる範囲で花壇化、草花・花木を植栽、季節感を有した素敵な緑地帯にすべく自主的・主体的に維持管理する。</li> </ul>
3 事業の期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
4 事業実施状況	
(年 月 日)	(事業実施内容、参加人数等)
平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月	<p>毎週月曜日に西口ロータリーエリア緑地帯花壇を維持・管理、並びに花卉植栽・植替え(冬, 春版、夏, 秋版)を遂行。</p> <p>事業参加者(登録者) 92 名</p> <p>(毎週月曜日の作業会には 5～20 名が参加)</p>



5 事業の成果

駅前西口ロータリーエリア緑地帯（仮称「3本桜緑地帯」及び「ホッケースティック緑地帯」）の雑草除去・石取除き、肥料蒔き、花卉植栽・植替え（冬, 春版, 夏, 秋版）、水遣り作業、並びに周辺清掃等々の適切な維持・管理により緑地帯花壇を確立、結果的に当該エリア及びココネ広場を通行利用の人達の心身を和ませている。

